

会 議 概 要

[会 議 名] 第 4 回 府中市官製談合再発防止対策検討委員会

[日 時] 令和 2 年 1 0 月 1 6 日 (金) 午前 9 時 0 0 分 ~ 午前 9 時 4 2 分

[場 所] 府中市役所東庁舎 3 階 庁議室

[出 席 者] < 委 員 長 > 副市長

< 副委員長 > 副市長、教育長

< 委 員 > 政策総務部長、行政管理部長、都市整備部長、教育部長

< 事 務 局 > 政策総務部職員課

(職員課長、職員課長補佐、人事係長、人事係主任)

< 説 明 員 > 行政管理部職員

(契約課長、工事契約係長)

[議 題]

(1) 行政課題 (その 1) の再発防止対策の策定に係る取組について (報告)

(2) その他

議 事 要 旨

(1) 議題 1 行政課題（その 1）の再発防止対策の策定に係る取組について（報告）

（説明員） （行政課題（その 1）に係る官製談合再発防止対策の策定について、附属機関の設置等により取組を進めることについて報告。また、取組と並行して、第三者機関の常設を想定していることを報告。）

（委員長） 本議題は、短期間でまとめ、かつ齟齬がないように取り組む必要があるため、意見等をお願いする。

（委員） 附属機関の設置について、設置方法や委員報酬等の予算措置はどのように考えているのか。

（説明員） 1 年未満の附属機関として規則により設置することを考えている。予算は流用することで対応したい。

（委員） 附属機関では、取組方針で示された 3 つの視点に留意しながら検証するよう示すべきである。また、常設を検討する第三者機関の役割についても示すべきである。

（説明員） 常設の第三者機関の所掌事務については、附属機関において検討したい。

（委員） 第三者機関の検討自体は良いが、現時点で第三者機関の常設を示すことに違和感がある。

（説明員） まず、附属機関を時限的に設置し、再発防止対策の検討を行い、その後に入札の監視等を行う第三者機関の常設を検討したい。スピード感を持ち、並行して検討を進めたいと考えている。

（委員） 仮に附属機関の答申が間に合わないとしても、第三者機関を常設する方向性及び内容が固まってさえいれば、検討を進めることは十分可能であると思う。

（委員） 常設の第三者機関はどのような役割を担うのか。

（説明員） 主な役割としては、一定期間で抽出した入札等の案件について、そ

の入札内容、契約理由、落札率等が適正かどうかを検証するものである。一般的には入札監視委員会等の名称で設置されている。設置によって不正の抑止効果を持たせるものでもある。

(委員) 監査事務局との連携や役割の重複はあるのか。

(説明員) 現時点で監査事務局との調整はしていないが、二重チェックを行う体制となる。

(委員) 他団体における入札監視委員会等の設置率はどのくらいか。

(説明員) 多摩26市では、8市が設置している状況である。近年設置を行う自治体が増えているようである。

(委員) 附属機関での検討イメージはあるのか。また、委員の選任についてはいかがか。

(説明員) 附属機関での検討内容として、抑止を図る観点で具体策をイメージしている。委員は、大学教授、弁護士、税理士等を考えており、それぞれの団体に推薦依頼を行っている。

(委員長) 部全体の幅広い視点を加えて、検討をお願いする。

(委員) 職員倫理の課題等についての検討状況はどうか。

(事務局) 職員倫理や利害関係人との関わり方に関する課題等については、公判状況の確認が必要である。その上で、専門委員を設置し、年度内にルール化等の検討を行いたい。

(委員長) 本日の意見を踏まえ、行政課題に応じて適切に検討を進めてもらいたい。

(2) 議題2 その他

(事務局) (会議の概要及び議事要旨について委員に確認をしながら速やかに作成・公表することについて報告)

(委員長) ほかになければ、以上で第4回検討委員会を終了する。

以上